

# 平成26年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第9回）

## アンケート結果

		参加者数	回答者数	回収率
今年度	1日目	156人	86人	55.1%
	2日目	272人	84人	30.9%
	3日目	238人	92人	38.7%
昨年度	1日目	208人	83人	39.9%
	2日目	344人	74人	21.5%
	3日目	287人	91人	31.7%

※一般参加者にはアンケートを配布していないので、参加者数には含めていない。

※1日ごとにアンケートを回収したため、1人が複数のアンケートを提出している場合もある。

### 1 大学入試センターセミナー（1日目）

#### 『「基礎的学力を測る」-言語運用力試験の開発-』について

##### (1) 内容について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	28人 (32.6%)	47人 (54.7%)	9人 (10.5%)	2人 (2.3%)
昨年度	65人 (78.3%)	17人 (20.5%)	1人 (1.2%)	0人 (0.0%)

##### (2) 進行について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	44人 (51.2%)	34人 (39.5%)	6人 (7.0%)	2人 (2.3%)
昨年度	51人 (61.4%)	26人 (31.3%)	6人 (7.2%)	0人 (0.0%)

##### (3)-1 御感想・改善すべき点等ご意見がありましたら、お聞かせください。

- ・ 今回のセミナーの内容は、参加者=各大学入試関係教職員に遍く関心を抱かせるものではなかった様に思う。(国立・教員)
- ・ 初日の、しかも午後2時間だけの内容として、特別取り上げる重要性を感じない報告内容であった。(テーマは重要だが内容がいまひとつ。)(国立・教員)
- ・ 藤木先生の話は興味深いが、選抜のための入試の話ではなく、教学のためのテストの話と思う。(国立・教員)
- ・ テストは本当に「言語運用能力」を測定しているのか。明確な定表は $\longleftrightarrow$ センター試験の「国語」との関係は(違いは)。何のために、何に活用できるのか入試よりも学習指導。モニター大学の結果をみると、結局「学力(偏差値)」と同じものを測定している。(国立・教員)
- ・ 言語運用力試験並びに数理の問題事例をもっと示して欲しかった。(国立・教員)
- ・ 開発後の利用方法や、こんな使い方ができる、といったことも示されたら良いのではないのでしょうか。(国立・教員)
- ・ 言語運用能力のテストの様式や項目について、もう少し具体的な説明があつて分析の説明があると分かりやすいと思った。(国立・教員)
- ・ 3名とも「発表者」ということでもよかったのではないのでしょうか。おもしろかったです。(国立・教員)

- ・ センター試験の弁別力に関するお話は興味深いものでした。(国立・教員)
- ・ 研究内容が専門的すぎて、まったく理解できなかった。(国立・教員)
- ・ 事務系の者には少しとっつきにくい内容であった。ただこういった内容の話聞く機会を得たことは有意義ではあったと感じた(前半2件)。データ分析で示していただき興味深く思った(後半1件)。(国立・事務職員)
- ・ 専門的内容で難しかったです。(国立・事務職員)
- ・ 藤木先生のパワーポイント資料も欲しかった(出せる部分のみでも)。(国立・事務職員)
- ・ 統計分析の内容が難解。資料のグラフの色が薄くて読み取りにくい。内容は興味深い。(国立・事務職員)
- ・ テスト内容の説明がほしかった。(公立・事務職員)
- ・ 非常に興味深い内容だった。選抜の際の、実運用例を聞いてみたい。(公立・事務職員)
- ・ 「言語運用力試験結果の分析」の内容が少し難解であった。もう少し分かり易いレベルに下げて欲しかった。(公立・事務職員)
- ・ 言語運用力試験データの分析手法がやや難解であった。(研修会に参加できないので。)(私立・教員)。
- ・ 発表者の話がうまくかみ合っていない。後半の話では、数式の説明は、多少省略しても、だからどうするという話を多くすべき。藤木先生もレジメを用意した方がよい。(私立・教員)
- ・ さまざまな学修があるのは理解できるが、何故、言語運用や数理分析になるのかがわからない。コメンテーターのはコメントになっていない。一般入試が推薦、AOより成績がよいのはどんなテストでも計測可能。GPAと相関がないのは、GPAがだめなのかテストがだめなのか。(私立・教員)
- ・ もし、今日のような分析で「センター試験は難しい」ということを言うのであればあまりにも拙速なのは。入試センターは大学の先生など専門家を入れて分析してはいいかがか。理系の先生を入れるべき。(私立・教員)
- ・ 数式等の説明が難解だった。(私立・事務職員)
- ・ 発表者とコメンテーターの関係についてだが、コメンテーターはコメントするだけでいいのだろうか。コメントに対して発表者はこたえるようなスタイルである必要はないのだろうか。フロアの質問があがるのを期待するには困難な発表内容じゃないのか。(所属不明・教員)
- ・ 言語運用力の高い低いテストだけで測れるのか。⇒なぜ17問か。例えば面接等とかは必要ないのか。(所属職種不明)
- ・ 統計の話はむずかしすぎる。量をしばって1つ1つもっていいいな説明を。演者が主張するほど結論は明確でないように思うが。統計的な有意差はあるのか。(所属職種不明)
- ・ 大学入試は高校での受験指導にも影響を及ぼしますが今回の発表のような試験は高校側からどんな反応が返るか気になりました。(所属職種不明)
- ・ 発表全体が少し技術論に走り過ぎた感がある。(所属職種不明)
- ・ 少し抽象的な内容だったと思います。特に2番目の発表は、統計手法を用いていましたが専門的すぎると思います。(所属職種不明)

### (3)-2 次回開催された場合の希望されるテーマ等ご意見がありましたら、お聞かせください。

- ・ 新しい評価方法の開発に期待しております。(国立・教員)
- ・ 次回はセンター試験(あるいは達成度試験でも)へIRT方式導入の課題と問題点。(国立・教員)
- ・ 統一試験の今後の方向性について。(国立・事務職員)
- ・ 追跡調査、IR、エンロールメントマネジメント。(国立・教員)
- ・ 接続テスト(発表)。(国立・事務職員)
- ・ 小論文試験の作問評価の方法。(所属職種不明)

- ・ DNC試験の今後の展望と社会人として求められている受験生の資質。真に基礎的学力の測定が日本の将来を担うためにつながるのか。(公立・事務職員)

## 2 次回の平成27年度大会について

御意見、御希望がある場合は、お聞かせください。

- ・ 初日の内容はもう少し全員に必要なテーマを扱ってほしい。学力上位の大学には関心の薄い話題であったため。(国立・教員)
- ・ もう少しセンター試験利用大学担当者が広く理解できる話題提供を望む。(国立・教員)
- ・ もう少しテーマを絞った内容にして欲しい。(国立・事務職員)
- ・ 実際に学生に実施した言語運用力及び数理分析テスト問題を見てみたい。西日本での開催を希望。(公立・事務職員)
- ・ もっとフロアが理解できて、興味のもてる内容をのぞむ。司会と発表者の自己満足でやるなら開催しない方がましである。(所属不明・教員)
- ・ 議題の概要とターゲット(教員か事務)などをあらかじめ示していただけると、出席者の検討がしやすいと思います。(所属不明・事務職員)
- ・ 今注目されている達成度テスト等についてセミナーを希望する。また、文科省の方針等も知りたい。(所属職種不明)
- ・ 来年は都内でお願ひしたい。(国立・事務職員)
- ・ 東京での開催を希望します。(所属職種不明)

## 3 その他

本大会に参加されて率直な御感想を、お聞かせください。

- ・ 藤木先生の分析とコメントは、大学の教育に還元できるものとして、どう役立てていこうか、1つの筋道が示されていたと思う。(国立・教員)
- ・ 母数が少なく、もう少し参加大学・学生の回答をまとめてからの発表をお聞きしたい。(国立・事務職員)
- ・ 資料の差しかえをおこなうなら、配布資料もそれに合わせてもらいたい。(公立・教員)
- ・ 事務系にはむずかしい発表があったように感じました。(その他・事務職員)
- ・ セミナーという名であるのに、フロアに何を教示したいのかがわからない。教示したいことがないなら、開催しなくてもいいのでは。(所属不明・教員)
- ・ 作問の方法についてもっと知りたい。弁別能力はどうだったのか・・・信頼性。(所属職種不明)
- ・ セミナーについては、昨年の方が良かった。(国立・事務職員)
- ・ 今回初めて参加させていただきました。色々勉強になることが多く参考になります。(公立・事務職員)
- ・ 非常に面白い内容でした。(国立・事務職員)
- ・ 引き続きDNCの取り組みをお聴かせいただければと思います。(公立・事務職員)
- ・ 1日目おつかれ様でした。少々ききとりづらい部分がありました。(私立・事務職員)
- ・ 協議会大会等の日程を早い時期に知らせてほしい。(参加申込等の案内をできるだけ早くしていただけると年度末に次年度の予定(特に教員)を組みやすくなるため。)(国立・事務職員)

## 1 平成26年度大会(企画討論会／公開討論会)について(2日目)

### (1) 運営について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	65人 (77.4%)	11人 (13.1%)	5人 (6.0%)	3人 (3.6%)

昨年度	60人 (81.1%)	10人 (13.5%)	3人 (4.1%)	1人 (1.4%)
-----	-------------	-------------	-----------	-----------

(2) 日程について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無記入
今年度	67人 (79.8%)	11人 (13.1%)	4人 (4.8%)	2人 (2.4%)
昨年度	62人 (83.8%)	12人 (16.2%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

(3) 開催地について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無記入
今年度	53人 (63.1%)	24人 (28.6%)	5人 (6.0%)	2人 (2.4%)
昨年度	60人 (81.1%)	12人 (16.2%)	2人 (2.7%)	0人 (0.0%)

(4) 大会について、改善すべき点等意見がありましたらお書きください。

- ・ 会場が狭かったと思います。どうしてもとなりのマリオスを使わなかったのですか。(国立・教員)
- ・ 小さいテーブルの付いた座席にして欲しかった。遠かったが駅から近いのはよかった。(国立・教員)
- ・ 大ホール(できれば低い階で)。(国立・事務職員)
- ・ 東京で開催した方が参加しやすい。(国立・事務職員)
- ・ 可能ならアクセスや時間を考慮し、東京での開催として欲しい。都道府県の持ち回りでなければ。(国立・事務職員)
- ・ 東北復興の一助としての開催とすれば良かったと思います。(私立・教員)
- ・ 参加しやすい夏季期間を希望します。(私立・事務職員)
- ・ マイクの調整などは基本的な運営準備と思います。(私立・事務職員)
- ・ 被災地支援のため東北での開催を希望します。(所属職種不明)
- ・ 土日にできないか。講義などで参加できない教員が多い。(所属職種不明)
- ・ 8階で討論会を聴くことになったが、会場全体の様子が解らなかった。とても残念でした。(所属職種不明)
- ・ 素晴らしい会場でした。利便性も高いです。(所属職種不明)
- ・ 804のサテライト教室は、討論会の臨場感が伝わらなかった。さらにガラガラであった。(所属職種不明)

2 企画討論会

『「高校教育・大学入試・大学教育の関係再考」-それぞれどのような能力を育成し、どのように測定しようとしているのか-』について

(1) 内容について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無記入
今年度	58人 (69.0%)	15人 (17.9%)	2人 (2.4%)	9人 (10.7%)
昨年度	58人 (78.4%)	4人 (5.4%)	4人 (5.4%)	8人 (10.8%)

(2) 進行について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無記入

今年度	55人 (65.5%)	17人 (20.2%)	3人 (3.6%)	9人 (10.7%)
昨年度	50人 (67.6%)	12人 (16.2%)	4人 (5.4%)	8人 (10.8%)

(3)-1 御感想・改善すべき点等ご意見がありましたら、お聞かせください。

- ・ 何となくバラバラ感が残りました。もう少し話を焦点化してもよかったのではないのでしょうか。(国立・教員)
- ・ 様々な問題を含んだテーマで考えさせられたが、問題の中が広くて聞いていて消化不良ぎみだった。もう少し時間を取っても良かった。(公立・教員)
- ・ 質問票だけでなく、挙手による討論もあった方が良かった。企画討論会では、内容に統一がとれていない印象で、パネリストがバラバラに独立に発表している感があった。司会の役割が希薄で、何を議論しているのかわからなかった。(私立・教員)
- ・ 及川先生：内容が盛り沢山過ぎた。荒井先生：良くまとめていただき、良くわかった。この内容が初日にあっても良かったのではないか。(私立・教員)
- ・ 時間の関係で総括が少しものたらなかった。(私立・事務職員)
- ・ 発表者の発表時間一人 20分は厳しいようで実際は 30分程度必要のようです。「高校教育(中等教育)→入試→大学教育(高等教育)」の関係再考のテーマ設定は時機をとらえており良かった。パネリスト 3名の言説は大変示唆に富むものであった。(所属職種不明)
- ・ 大変勉強になりました。荒井先生の分析に感銘を受けました。(所属職種不明)

(3)-2 次回開催された場合の希望されるテーマ等ご意見がありましたら、お聞かせください。

- ・ 高校現場で実際に進路指導に携わっておられる先生方を招いての講演と懇親会を実施してはどうか。(公立・事務職員)

### 3 公開討論会

#### 「大学進学地域における現状とその改善方策について」について

(1) 内容について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	53人 (63.1%)	22人 (26.2%)	2人 (2.4%)	7人 (8.3%)
昨年度	43人 (58.1%)	24人 (32.4%)	2人 (2.7%)	5人 (6.8%)

(2) 進行について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	57人 (67.9%)	16人 (19.0%)	3人 (3.6%)	8人 (9.5%)
昨年度	49人 (66.2%)	16人 (21.6%)	3人 (4.1%)	6人 (8.1%)

(3)-1 御感想・改善すべき点等ご意見がありましたら、お聞かせください。

- ・ 大事なテーマだと思いました。(国立・教員)
- ・ 司会とパネリストの選択が悪い。地元で気を遣う必要ない。テーマは悪くないが運営進行が悪いと盛り上がらない典型の様な会であった。(国立・教員)
- ・ 確かに地方における大学入試(admission)の状況は、今後 10-20年の大きなテーマだと再認識はした。文部科学省のみならず、地方行政からの声もあれば良かったかなと思いました。(国立・教員)
- ・ 岩手県の高校の話は具体的ではあったがローカルすぎる話であった。(国立・教員)

- ・ 高知大学の取組が参考になった。(国立・事務職員)
- ・ 高校の話が長すぎた。事例は代表的なものに限定して、全国共通の要素を中心にまとめるべき。(国立・事務職員)
- ・ 地方都市での入試・高大接続の在り方について、中長期的展望で分析する必要があると感じました。(公立・教員)
- ・ 開催地からの地域に限定した事例・取り組みは参考となる部分はある。但し、総論としての話もっと聴きたかった。全ての国公立大学が共有できる共通の情報もしっかり入れておく必要がある。他人事とならないように、全大学での統一感が持てれば。(公立・事務職員)
- ・ 発表者は割当時間を考えて資料準備をすべき。主催者側も事前に資料を見て、多すぎる場合は修正させるべきではないだろうか。(公立・事務職員)
- ・ 北村先生の事例報告が長すぎた。そこから得られたまとめに多くの時間を割くべき。(私立・教員)
- ・ 高等学校の事例紹介はポイントをまとめて報告してほしかった。時間配分にご留意いただきたいかった。(私立・事務職員)
- ・ 北村氏についてはテーマが運営サイドより上手く伝わっていない印象があった。(私立・事務職員)
- ・ 北村先生のお話は大変重く受け止めました。地域の存続にも関係する大きな問題をお示しいただきました。(所属職種不明)
- ・ 自分たちに関連しそうな点が見出しにくいお話もあったように思います。(所属職種不明)
- ・ 黒沢尻北高校の北村先生のお話は網羅的であり、30分程度にまとめていただきたかった。「産官学一体となって地方の人材育成について、本気で取り組まねばならない」というご意見には賛同いたします。(所属職種不明)
- ・ やはり804で聴講していても臨場感が伝わらず。特に後半は会場の様子が全く伝わらない。(所属職種不明)
- ・ 期待とは異なっていました。(国立・教員)
- ・ 個別の話が多く、今一つ内容が一般化できていないと感じた。(公立・教員)

### (3)-2 次回開催された場合の希望されるテーマ等ご意見がありましたら、お聞かせください。

- ・ 企業側から入試制度についての問題提起を聞きたい。(所属職種不明)
- ・ 地方の人口減に対して大学は何ができるか。(私立・教員)
- ・ 教育経費を誰がどのように負担するのか。(所属職種不明)

## 4 次回の平成27年度大会について

御意見、御希望がある場合は、お聞かせください。

- ・ たぶん、「達成度テスト」になるのでしょうか。否応なく・・・。(国立・教員)
- ・ フロアからの意見をもっと出させるべき、司会がうまく仕切れば変な意見を述べるものはCUTできるだろうし、重要な問題について参加者が内容討論の結果を共有しやすいと思う。(国立・教員)
- ・ 達成度テストに対する高校からの評価等。(国立・事務職員)
- ・ 教育改革についての説明がほしい。(国立・事務職員)
- ・ 事務職員の研究報告等が聴きたいと思う。(公立・事務職員)
- ・ リメディアル教育。初年次教育。キャリア教育。(公立・事務職員)
- ・ 医系、保健系についてききたい。(私立・教員)
- ・ 学生が大学に求める環境(教育、研究に対する人、もの、支援)と大学が学生に求める能力(学力、やる気、国際性)について取り上げてほしい。(所属職種不明)

## 5 その他

本大会に参加されて率直な御感想を、お聞かせください。

- ・ 群盲象ぐんもうそうをなでる。日本の若者の育成はどうなるのか、不安になっただけ。(国立・教員)
- ・ 発表者の方が非常に準備が整っており、有意義な発表が多かった。(私立・事務職員)
- ・ 他大学の政策が聞けて良かった。(私立・事務職員)
- ・ 毎年、貴重な研究成果を発表いただき、勉強になります。(所属職種不明)
- ・ 文科省の方の話も聞きたかったです。(所属職種不明)
- ・ すばらしい会場を用意(設定)していただき、ありがとうございました。(国立・事務職員)
- ・ より具体的な議論が必要。(国立・教員)
- ・ 大変参考になりました。ありがとうございました。(公立・事務職員)
- ・ 勉強になりました。(私立・教員)
- ・ テーブルが欲しかった。(国立・事務職員)

### 1 平成26年度大会について(3日目)

#### (1) 運営について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無記入
今年度	73人 (79.3%)	15人 (16.3%)	1人 (1.1%)	3人 (3.3%)
昨年度	72人 (79.1%)	15人 (16.5%)	1人 (1.1%)	3人 (3.3%)

#### (2) 日程について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無記入
今年度	68人 (73.9%)	19人 (20.7%)	3人 (3.3%)	2人 (2.2%)
昨年度	77人 (84.6%)	9人 (9.9%)	2人 (2.2%)	3人 (3.3%)

#### (3) 開催地について

	よかった	どちらとも 言えない	改善すべき 点がある	無記入
今年度	56人 (60.9%)	28人 (30.4%)	4人 (4.3%)	4人 (4.3%)
昨年度	70人 (76.9%)	14人 (15.4%)	3人 (3.3%)	4人 (4.4%)

#### (4) 大会について、改善すべき点等意見がありましたらお書きください。

- ・ セッションの問題点を明確にして、その問題点を発表者がどのように把握しているのか明確にした議論があれば良かった。(私立・教員)
- ・ セッションが2部制ということが申し込みの時点で分かりにくかった。(私立・事務職員)
- ・ 東日本大震災後の状況が気になっておりましたので、確認できて良かったと思っています。(所属職種不明)
- ・ 昨年のように6月上旬が良い。アンケートや名札については毎日冒頭で説明した方がよい。(国立・事務職員)
- ・ できるだけ週末で実施してほしい。東京、大阪、京都など大都市で実施してほしい。(公立・教員)
- ・ セッション会場名が、少しわかりにくかったです。会場内にもセッションが示されていると良かったです。(所属職種不明)

- ・メイン会場が狭かったのが改善すべき点です。(国立・教員)
- ・遠方からです。少し便が悪くて困ったので仙台あたりが良かった。午前中の会場の冷房のききが良すぎて寒くて集中できなかった。それ以外は、駅からのアクセスの良い会場で、キレイでとても快適でした。(国立・事務職員)
- ・ちょっと遠い。(国立・事務職員)
- ・交通機関の予約を当初の予定時間をもとに早めに行くと、プログラム変更で早く終了しても変更できない。もっと正確なアナウンスをしていただきたい。(国立・事務職員)
- ・(日帰りの場合)朝の開始時間が、もう少し遅いと助かります。(公立・事務職員)
- ・参加しやすい夏季期間に設定してほしい。(私立・事務職員)
- ・開催地はどこからも便の良い東京に固定したほうがよいかも。(所属職種不明)

## 2 研究会について

### (1) どのセッションに参加されましたか

	企画	第1	第2	第3	第4	第5	第6
今年度		22人	57人	22人	23人	20人	49人
昨年度	31人	20人	43人	33人	17人	41人	

### (2) 組合せ・順番について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	65人 (70.7%)	21人 (22.8%)	2人 (2.2%)	4人 (4.3%)
昨年度	53人 (58.2%)	29人 (31.9%)	4人 (4.4%)	5人 (5.5%)

### (3) 発表内容について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	65人 (70.7%)	24人 (26.1%)	0人 (0.0%)	3人 (3.3%)
昨年度	62人 (68.1%)	20人 (22.0%)	4人 (4.4%)	4人 (4.4%)

### (4) 発表時間の配分について

	よかった	どちらとも言えない	改善すべき点がある	無記入
今年度	74人 (80.4%)	9人 (9.8%)	5人 (5.4%)	4人 (4.3%)
昨年度	60人 (65.9%)	15人 (16.5%)	12人 (13.2%)	4人 (4.4%)

### (5) 今回の研究発表の中で興味または関心を持ったものがあれば、お聞かせください。

#### <第1セッション(高校教育・選抜方法(1))>

- ①「大学新入生が中学校・高等学校で経験した探究的な学習活動 ―実のある高大接続を目指す基礎調査―」  
渡辺哲司(文部科学省初等中等教育局)  
島田康行(筑波大学アドミッションセンター)  
・グループ学習はすすんで取組むが、個になると探究心が大きく欠ける。と教員の声あり、理系大として教員が苦心している。(公立・事務職員1名)
- ③「高等学校の調査書における学習成績概評の評価基準」  
鈴川由美(京都大学入試改革検討本部)  
山本知弘(京都大学入試改革検討本部)

- ・分析をもっと聞きたかった。(国立・事務職員 1 名)
- ・本学でのヒントになる糸口が見えました。(所属職種不明 1 名)
- ・コメントなし：国立・教員 1 名

#### <第2セッション(入試制度・追跡調査)>

- ②「理工系大学における在学生の学力・成績とキャリアデータによる追跡調査・分析の試み」  
 椿美智子(電気通信大学アドミッションセンター)  
 三宅貴也(電気通信大学アドミッションセンター)  
 富永倫彦(電気通信大学アドミッションセンター)  
 桐本哲郎(電気通信大学アドミッションセンター)  
 西村幸(電気通信大学アドミッションセンター)  
 ・コメントなし：国立・事務職員 1 名
- ③「入学後の成功と資質・能力自己評価にみる入試の評価 ―山口大学入学者追跡調査データ分析より―」  
 林寛子(山口大学アドミッションセンター)  
 ・コメントなし：国立・事務職員 1 名、公立・事務職員 1 名、所属不明・事務職員 1 名、所属職種不明 1 名
- ④「後期日程における入試制度設計 ―過去最高の志願者数となった背景―」  
 西郡大(佐賀大学アドミッションセンター)  
 ・コメントなし：国立・教員 2 名、国立・事務職員 2 名、所属不明・事務職員 1 名
- ⑤「不本意入学意識の学修への影響 ―これまでの不本意入学は本当に不本意なのか―」  
 雨森聡(信州大学アドミッションセンター)  
 ・コメントなし：公立・事務職員 1 名、所属職種不明 1 名
- ⑥「高校生の文理選択について」  
 田中克己(岡山大学アドミッションセンター)  
 飯塚誠也(岡山大学アドミッションセンター)  
 上田一郎(岡山大学アドミッションセンター)  
 ・コメントなし：公立・事務職員 1 名

#### <第3セッション(AO・推薦)>

- ①「AO 入試における態度・習慣領域評価の妥当性 ―高知大学医学科入学者の調査・報告―」  
 大塚智子(高知大学総合教育センター)  
 倉本秋(高知医療再生機構)  
 高田淳(高知大学医学部)  
 武内世生(高知大学医学部附属病院)  
 瀬尾宏美(高知大学医学部附属病院)  
 ・高知大の態度・習慣の取り組みに感銘。人間として社会人としてどのような職業人にも一番求められるが、大学教育としては、手をつけていない(指導したくない)部分であり、教職員自身の人間性が一番問われる部分である。1 人の有名な教員がいる大学より、全教職員があいさつできるような「人がブランドの大学」でありたい。(公立・事務職員 1 名)

#### <第4セッション(志願者・受験者の動向・海外比較)>

- ②「国公立大学における入試の変更が志願者数に及ぼす影響について」  
 船橋伸一(富山大学アドミッションセンター)  
 ・入試科目を変更することで志願者数の増減、不本意入学者の意識調査等大変参考になる報告が多かったです。(公立・事務職員 1 名)
- ③「東北大学歯学部における志願者・入学者の学力水準の変化 ―医学部医学科定員増の影響を中心に―」

倉元直樹(東北大学高度教養教育・学生支援機構)

市川博之(東北大学大学院歯学研究科)

・コメントなし：私立・教員 1 名

④「センター試験の出願者の 2 層構造化と受験目的の多様化」

内田照久(大学入試センター研究開発部)

橋本貴充(大学入試センター研究開発部)

鈴木規夫(大学入試センター入学者選抜研究に関する調査室)

・コメントなし：私立・教員 1 名

⑥「フィンランドの大学入学資格試験「生物」における基礎的分析」

鈴木誠(北海道大学高等教育推進機構)

・コメントなし：私立・教員 1 名、所属職種不明 1 名

<第 5 セッション(高校教育・選抜方法(2))>

④「大学で必要な学力をどのように測るか？」

内村浩(京都工芸繊維大学アドミッションセンター)

・興味深く聞かせていただいた。(国立・事務職員 1 名)

・とても興味深かったです。パワーポイントの資料がとてもほしかったです。(所属職種不明 1 名)

・コメントなし：所属職種不明 1 名

<第 6 セッション(進路指導・広報)>

①「高校進路指導における出願校決定に至るまでの現状と課題」

永野拓矢(高知大学総合教育センター)

門馬甲兒(山形大学工学部)

・コメントなし：公立・事務職員 1 名、所属職種不明 1 名

②「工学部における「リケジョ」の実態と入試広報戦略 ―模擬試験の動向および実際の志願・入学状況の分析と「リケジョ」対策広報―

高木繁(名古屋工業大学アドミッション・オフィス)

・リケジョのオープンキャンパスが成功かどうかもう少しデータが集まったら、また来たいです。(私立・事務職員 1 名)

・コメントなし：公立・事務職員 2 名、私立・教員 1 名

⑤「学生募集の費用対効果を高める大学訪問受け入れ戦略 ―地方国立大学の事例から―

福島真司(山形大学エンロールメント・マネジメント部)

鈴木達哉(山形大学エンロールメント・マネジメント部)

菅井和明(山形大学エンロールメント・マネジメント部)

・コメントなし：所属職種不明 2 名

<セッション不明>

・入学者の能力測定、意欲をどのように測るか、その方向性。(国立・事務職員)

・概ね実際のデータにもとづいた発表については興味深かった。(公立・事務職員)

・入学後の入試の成果。(私立・事務職員)

・入試形態別の学生の追跡調査。(所属職種不明)

・大学だけではなく高校も変化を求められていること、変化していること。「理系ばなれ」ではなく理系希望の高校が多くなっている。女子学生確保に地域制が強く関係している。(所属職種不明)

・AO 入試と AP の関連。(所属職種不明)

・1 例あたりの持ち時間が短いと感じた。(所属職種不明)

- ・ 小規模大学(公立)の私たちにとって情報収集の場として、貴重な機会となっています。本学の入試改善の参考とさせていただきます。(所属職種不明)

#### <タイトル不明>

- ・ 第3セッションのAO入試。(公立・教員1名)

#### (6) 今後どのようなテーマの企画セッションを希望されますか、お聞かせください。

- ・ 入試成績と就職状況の関係。(国立・教員)
- ・ 帰国子女・私費外国人留学生入試のあり方。(国立・事務職員)
- ・ 入学試験改革、とり組み。(国立・事務職員)
- ・ GPAに代わる学生評価指評の開発について。(国立・事務職員)
- ・ 高校訪問のあり方や効果についてのテーマを聞いてみたいです。また行くだけではなく、高校の教員をキャンパスに招いてみるということをしている大学があればお話をきいてみたいです。(国立・事務職員)
- ・ センター試験の将来像。(公立・教員)
- ・ 受験科目としてセンター試験の科目の増減が志願倍率に与える影響。(公立・事務職員)
- ・ 大学の実際の運営における諸問題を。(公立・事務職員)
- ・ 引き続き推せん入試のテーマを希望。(公立・事務職員)
- ・ 今回も参加させていただきましたが、他大学の入試広報に関する先導事例の研究報告や高校の進路指導に関する研究報告が、お伺いできればと考えております。(公立・事務職員)
- ・ 私立大学の入試の実態・事例紹介にも焦点をあててほしい。(私立・事務職員)
- ・ 入試改革の種類・その効果。(所属職種不明)
- ・ CBTの導入の課題。(所属職種不明)
- ・ 英語教育について 大学が求める英語力と高校での英語教育、入試英語の関係。(所属職種不明)
- ・ 達成度テストの基礎や発展の作題。(所属職種不明)
- ・ センター試験の見直しを控えて、大学の役員からは具体的な事例の報告を求められることが多いので対応をお願いしたい。(所属職種不明)
- ・ 入試広報活動における戦略について、国公立と私立大との違いが明確にあるため、両方の講演が聞きたい。(所属職種不明)
- ・ 入学後追跡調査。(所属職種不明)

#### (7) その他、改善すべき点等御意見がある場合は、お聞かせください。

- ・ 午後の第4セッション①(8 1 2会場で発表)の取り消しがあったため、繰り上げになり、会場へ行った時には、聞きたい発表が終わっていた。今後、発表取り消しがあった場合、繰り上げずに休憩にした方が良く考える。(国立・教員)
- ・ 各セッションの時間配分について、初めの何分かは、司会者のあいさつ、進め方の説明等があるので、その分の時間を設定しておいた方が発表時間にくい込まなくてよいのではないのでしょうか。(国立・事務職員)
- ・ 前置きが長くまとめの部分で時間が足りない人が多かった。もう5分ずつくらい与えてもよかった。(国立・事務職員)
- ・ 3パラレルセッションのため聞きたい発表を聞けなかった。2部×3セッションを3部×2セッションにしてはどうでしょうか。(国立・事務職員)
- ・ 帰りの都合で最も興味があった第6セッションがほとんど聞けず帰らなければならなかった。残念。特に第6セッションの⑤を聞きたかったので。(国立・事務職員)
- ・ 毎年のセンター試験の結果と講評みたいなものを、やってみてはいかがでしょうか。(私立・教

員)

- ・ 特定の受験産業の評価をするのに少し疑問を感じた。(私立・事務職員)
- ・ 配布された資料についてはデータがあると良いと思います。(所属職種不明)
- ・ 研究会の会場が広く、発表をゆっくり聴くことができ良かったです。(国立・教員)
- ・ 朝の開始時間をもう少し遅らせてほしい。(公立・事務職員)
- ・ 講演内容をセンターのHPで見られるようにしてほしい。(所属職種不明)

### 3 次回の平成27年度大会について

御意見、御希望がある場合は、お聞かせください。

- ・ 「(7)その他、改善すべき点等御意見・・・」の項にも記述しましたが数多くの発表を聞けるようにパラレルセッション数を少なくしてほしい。(国立・事務職員)
- ・ 国・公立、私立、高校成績 上位、中位、下位 入学者、理系、文系、教育系、医学系など個々の大学の事情が違うのでグループ分けして情報交換する場が必要。(国立・その他)
- ・ 配布資料と説明資料(パワーポイント)が違い説明がわかりづらかった。できれば合わせていただきたい。(公立・職種不明)
- ・ 難関大学(受験者が多数集まる上位校)とそうでない大学では、入試をはじめさまざまな分野で関心が異なるので、下位校が悩んでいるテーマを設定してほしい。(私立・教員)
- ・ 交通の便の良いところでずっと開催してほしい。(国立・事務職員)
- ・ 都内開催。(所属職種不明)

### 4 その他

本大会に参加されて率直な御感想を、お聞かせください。

- ・ 興味深いテーマが多く、今後の自大学での活動に活かせるような学びがありました。(公立・事務職員)
- ・ 非常に参考になったが私立大学の参加がよりあるとよいと思う。(所属職種不明)
- ・ 高校は予備校化しているということが言われて久しいが、予備校から know how をもらっても「教育＝人を育てること」は基本的な様態であり、社会的責任のほうですが、それが今どこにあるの疑問。大学は入試のあとの教育内容 教育力と入試方法とを連動させて考えてみる必要があるのではと考えさせられた。国公立大学の試みはユニークで学ぶものが沢山あった。私立大の報告からもっと学びたかった。(所属職種不明)
- ・ 初めて参加したが全国にこれほど多くの者が入学者選抜に大きな関心を持ち改善に向けて活動していることを知り感動した。来年もぜひ参加したい。(所属職種不明)
- ・ 復興途上にある岩手県で開催されたことがよかったですと思います。復興が進みにくい沿岸部まで足を伸ばすことはできませんでしたが、いくらかの経済効果に貢献できたのではないかと思います。美しい岩手山、美味しい飲みもの、食べもの、よい大会でした。(国立・事務職員)
- ・ 有意義な発表が多く、勉強になりました。(所属職種不明)
- ・ 様々な視点から入学試験をみることができ、とても参考になりました、ありがとうございました。(国立・教員)
- ・ 勉強になりました。ありがとうございました。(国立・事務職員)
- ・ 色んな大学でやられていることを知る良い機会になりました。(国立・事務職員)
- ・ 初めての参加であるが、役に立つものもあった。(国立・職種不明)
- ・ 初めての参加でしたが、勉強になりました。(私立・教員)
- ・ 多少期間が長いので2日間で済むようにしていただきたい。(国立・職種不明)